

平成23年度 事務事業マネジメントシート

事業名	議会報告会・意見交換会事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）	主管課	議会事務局				
施策	6-3	地方分権・広域行政への取組	主管課長	福留 克志				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	・市民 ・議員 ・職員	意図	議員自ら市内に出向き、議会の状況を報告するとともに、市民からの意見を市政に反映できるように意見交換会を行う。
事業内容	年2回、各公民館等を会場に議会報告会を開催すると同時に、市民の方と意見交換会を実施。			
事業開始から現在までの状況変化	平成21年度 第1回目の議会報告会を開催 平成22年度 第2回目・3回目の議会報告会を開催 平成23年度 第4回目の議会報告会を開催			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成21年度	平成22年度	平成23年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	議会報告会・意見交換会参加人数	31	289	169	人	↑↑↑
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・議員が自ら動き、議会報告会を運営することができている。 ・報告会に参加する市民の年齢層に偏りがある。
事務事業のコスト		平成21年度	平成22年度	平成23年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		763,000	740,200	757,600			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		763,000	740,200	757,600			
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡充・継続（事業を現状どおり、もしくは拡大して続けるべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H23)の改善計画	市民の方が参加しやすいように、市内4ヶ所の会場を2日間に分けて2班体制で実施。	③取り組みの課題	報告内容や市民からの意見・要望等の取り扱いについて整理する必要がある。
②今年度(H23)に実施した取り組み	①5月13日：北部公民館・南流山センターで実施（34名参加） ②5月20日：東部・初石公民館で実施（135名参加）	④今後の改善計画	報告内容や意見・要望等を、広報広聴特別委員会で意見交換を行い検討する。